

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 東洋合成工業株式会社
 コード番号 4970 URL <http://www.tovogosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 正輝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 三代川 雅人
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 —

TEL 047-327-8080

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	5,758	—	△722	—	△864	—	△927	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△114.14	—
21年3月期第2四半期	—	—

(注)平成22年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成21年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	24,555	6,312	25.7	776.83
21年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 6,309百万円 21年3月期 一百万円

(注)平成22年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成21年3月期第2四半期の数値は記載していません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	0.00	6.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,800	—	△1,320	—	△1,520	—	△1,620	—	△199.44

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率につきましては記載していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社 (社名 株式会社トランスパレント) 除外 1社 (社名)
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	8,143,390株	21年3月期	8,143,390株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	20,720株	21年3月期	20,720株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	8,122,670株	21年3月期第2四半期	8,141,390株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月12日発表「平成21年3月期 決算短信(非連結)」における業績予想は非連結のものでありましたが、第1四半期より連結財務諸表を作成することに伴い、連結業績予想を作成しております。
- 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(6か月)の世界経済は、昨年後半以降の深刻な経済危機に対する各国政府の景気対策などにより、下げ止まりが見られるものの、本格的な回復にはまだ下振れリスクを抱えた不透明な状況が続いております。

日本経済も、中国向け需要の急増や政府の景気刺激策などが奏功し、景気持ち直しの動きが見られるものの、雇用の悪化が続くなど、自律的な回復には時間を要するものと思われま

す。当社グループの主要関連業界であるエレクトロニクス業界は、中国向け家電の需要増加や政府のエコポイント制度などの景気対策により回復が見られた一方、液晶テレビを始め低価格化が進むなど、厳しい状況が続いております。また、汎用化学品業界は、需要に回復の兆しが見え始めているものの、未だ事業を取り巻く環境は総じて厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループは、積極的な営業活動による需要の確保等に注力いたしましたが、世界的な需要の減少は依然として大きく、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,758,576千円となりました。

損益面では、総経費の削減や原価低減活動を始めとするコスト対策に努めたものの、第1四半期における生産量の減少などが影響し、営業損失は△722,672千円、経常損失は△864,624千円、四半期純損失は△927,159千円となりました。

【感光性材料事業】

液晶用途向け感光性材料は、昨年後半からの液晶パネルの在庫調整が完了し、中国向け需要が増加したこともあり、回復基調にあります。なお、半導体用途向け感光性材料は、需要の底打ち感は見られるものの、依然として厳しい状況が続いております。また、イオン液体・電解液は、精力的な需要開拓を進めております。

以上の結果、同事業部門の売上高は2,963,024千円となりました。

【化成品事業】

香料材料部門は、世界経済の回復を反映して、需要環境が好転し始めております。また、グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に市場開拓に注力するとともに、電子材料業界を中心として需要も回復の兆しを見せております。ロジスティック部門は、不況により荷動き量の低迷が続いておりますが、顧客満足度の維持・向上に努め、タンク契約率は高水準を維持いたしました。

以上の結果、同事業部門の売上高は2,795,552千円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は24,555,013千円となりました。

流動資産は8,324,212千円となりました。主な内訳は、商品及び製品3,169,125千円、受取手形及び売掛金2,235,438千円となっております。

固定資産は16,230,800千円となりました。主な内訳は、建物及び構築物(純額)5,611,158千円、土地4,410,875千円となっております。

流動負債は11,064,430千円となりました。主な内訳は、短期借入金8,626,440千円となっております。

固定負債は7,178,485千円となりました。主な内訳は、長期借入金5,513,330千円となっております。

純資産合計は6,312,096千円となりました。主な内訳は、利益剰余金3,154,388千円となっております。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しといたしましては、世界経済は一部に回復の兆しが見られるものの、依然として景気の下振れリスクを抱えており、先行き不透明な状況が予想されます。

このような状況を踏まえ、当社といたしましては、現時点において、平成21年8月12日付発表「平成22年3月期 第1四半期決算短信」における通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

前事業年度まで非連結子会社でありました株式会社トランスパレントを、重要性の観点から連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
 (平成21年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,398,615
受取手形及び売掛金	2,235,438
商品及び製品	3,169,125
仕掛品	124,243
原材料及び貯蔵品	1,193,052
その他	206,090
貸倒引当金	△2,352
流動資産合計	8,324,212
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	5,611,158
機械装置及び運搬具（純額）	4,073,846
土地	4,410,875
建設仮勘定	563,614
その他（純額）	389,484
有形固定資産合計	15,048,979
無形固定資産	
のれん	26,099
その他	626,006
無形固定資産合計	652,105
投資その他の資産	
その他	540,496
貸倒引当金	△10,781
投資その他の資産合計	529,715
固定資産合計	16,230,800
資産合計	24,555,013

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成21年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,369,136
短期借入金	8,626,440
未払法人税等	24,210
引当金	119,916
その他	924,726
流動負債合計	11,064,430
固定負債	
長期借入金	5,513,330
退職給付引当金	882,884
その他の引当金	88,239
その他	694,031
固定負債合計	7,178,485
負債合計	18,242,916
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,618,888
資本剰余金	1,541,589
利益剰余金	3,154,388
自己株式	△12,578
株主資本合計	6,302,287
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	7,681
評価・換算差額等合計	7,681
少数株主持分	2,128
純資産合計	6,312,096
負債純資産合計	24,555,013

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,758,576
売上原価	5,534,552
売上総利益	224,024
販売費及び一般管理費	946,697
営業損失(△)	△722,672
営業外収益	
受取利息	816
受取配当金	4,364
助成金収入	29,368
技術指導料	15,002
その他	29,328
営業外収益合計	78,880
営業外費用	
支払利息	84,111
休止固定資産減価償却費	47,647
為替差損	47,555
その他	41,517
営業外費用合計	220,832
経常損失(△)	△864,624
特別損失	
固定資産除却損	60,726
特別損失合計	60,726
税金等調整前四半期純損失(△)	△925,351
法人税、住民税及び事業税	3,320
法人税等調整額	△918
法人税等合計	2,401
少数株主損失(△)	△592
四半期純損失(△)	△927,159

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
売上高	3,108,448
売上原価	2,785,459
売上総利益	322,989
販売費及び一般管理費	479,194
営業損失(△)	△156,204
営業外収益	
受取利息	432
受取配当金	1,095
助成金収入	29,368
技術指導料	15,002
その他	17,299
営業外収益合計	63,198
営業外費用	
支払利息	40,324
休止固定資産減価償却費	19,056
為替差損	38,815
その他	17,278
営業外費用合計	115,475
経常損失(△)	△208,482
特別損失	
固定資産除却損	60,344
特別損失合計	60,344
税金等調整前四半期純損失(△)	△268,827
法人税、住民税及び事業税	1,660
法人税等調整額	△459
法人税等合計	1,200
少数株主損失(△)	△592
四半期純損失(△)	△269,434

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△925,351
減価償却費	1,098,686
のれん償却額	1,526
引当金の増減額(△は減少)	△24,098
受取利息及び受取配当金	△5,181
支払利息	84,111
固定資産除却損	60,726
売上債権の増減額(△は増加)	△979,775
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,275,401
仕入債務の増減額(△は減少)	119,667
未払又は未収消費税等の増減額	177,944
その他	△5,853
小計	877,804
利息及び配当金の受取額	4,576
利息の支払額	△89,665
保険金の受取額	265,751
補償金の受取額	50,000
法人税等の支払額	△3,940
法人税等の還付額	7,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,112,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△947,458
有形固定資産の除却による支出	△95
無形固定資産の取得による支出	△70,512
投資有価証券の取得による支出	△304
貸付けによる支出	△160
貸付金の回収による収入	178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,018,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	12,730,000
短期借入金の返済による支出	△11,598,000
長期借入れによる収入	850,000
長期借入金の返済による支出	△1,697,770
リース債務の返済による支出	△39,422
配当金の支払額	△169
財務活動によるキャッシュ・フロー	244,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	85
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	338,686
現金及び現金同等物の期首残高	539,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	878,615

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	感光性材料事業 (千円)	化成品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,963,024	2,795,552	5,758,576	—	5,758,576
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,340	206,364	207,704	(207,704)	—
計	2,964,365	3,001,916	5,966,281	(207,704)	5,758,576
営業利益又は営業損失 (△)	△792,751	70,079	△722,672	—	△722,672

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	アジア	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（千円）	864,462	610,553	272,284	55,342	1,802,642
II 連結売上高（千円）					5,758,576
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	15.0	10.6	4.7	1.0	31.3

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
(1) アジア・・・台湾、韓国、中国、シンガポール 他
(2) 北米・・・米国
(3) 欧州・・・スイス、スペイン、フランス 他
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。